

都道府県知事 殿

住 所 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿甲4279番地3
申請者 独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター
氏 名 院長 力武 一久

独立行政法人国立病院機構嬉野医療センターの地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

| | |
|----|--------------------------------|
| 住所 | 〒152-8621 東京都目黒区東が丘二丁目5番21号 |
| 氏名 | 独立行政法人国立病院機構 |

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター

3 所在の場所

〒843-0393
電佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿甲4279番地3 電話 (0954) 43 - 1120

4 病床数

| 精神病床 | 感染症病床 | 結核病床 | 療養病床 | 一般病床 | 合計 |
|------|-------|------|------|------|------|
| 床 | 4床 | 床 | 床 | 395床 | 399床 |

5 施設の構造設備

| 施設名 | 設備概要 |
|-------------------|--|
| 集中治療室 | 救急蘇生装置、除細動器、人工呼吸器、心電図モニター装置等 病床数 8床 |
| 化学検査室 | 生化学分析装置 |
| 細菌検査室 | 細菌同定・感受性測定システム |
| 病理検査室 | 自動染色封入装置 |
| 病理解剖室 | プッシュプル式解剖台（局所排気付） |
| 研究室 | 臨床研究部 |
| 講義室 | 室数 1 室 収容定員 336 人 |
| 図書室 | 室数 1 室 蔵書数 8,400 冊程度 |
| 救急用又は患者 搬送用自動車 | （主な設備） 保有台数 1 台 |
| 医薬品情報管理室 | [専用室の場合] 床面積 15.68㎡ |

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

| | | | |
|--------------|-----------|------|---------------------|
| 地域医療支援病院紹介率 | 65.1% | 算定期間 | 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日 |
| 地域医療支援病院逆紹介率 | 144.9% | | |
| 算出根拠 | A：紹介患者の数 | | 7,709人 |
| | B：初診患者の数 | | 11,835人 |
| | C：逆紹介患者の数 | | 17,149人 |

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

| No. | 職種 | 氏名 | 勤務の態様 | | 勤務時間 | 備考 |
|-----|----|--------|-----------|-----------|------|----|
| | | 別紙のとおり | 常勤 非常勤 | 専従 非専従 | | |
| | | | 常勤 非常勤 | 専従 非専従 | | |
| | | | 常勤 非常勤 | 専従 非専従 | | |
| | | | 常勤 非常勤 | 専従 非専従 | | |
| | | | 常勤 非常勤 | 専従 非専従 | | |
| | | | 常勤 非常勤 | 専従 非専従 | | |
| | | | 常勤 非常勤 | 専従 非専従 | | |
| | | | 常勤 非常勤 | 専従 非専従 | | |
| | | | 常勤 非常勤 | 専従 非専従 | | |
| | | | 常勤 非常勤 | 専従 非専従 | | |
| | | | 常勤 非常勤 | 専従 非専従 | | |
| | | | 常勤 非常勤 | 専従 非専従 | | |
| | | | 常勤 非常勤 | 専従 非専従 | | |
| | | | 常勤 非常勤 | 専従 非専従 | | |
| | | | 常勤 非常勤 | 専従 非専従 | | |

2 重症救急患者のための病床の確保状況

| | |
|-------------|-----|
| 優先的に使用できる病床 | 12床 |
| 専用病床 | 12床 |

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

| 施設名 | 床面積 | 設備概要 | 24時間使用の可否 |
|----------|---------|------------------------|-----------|
| 救命救急センター | 239.66㎡ | 救急蘇生装置、除細動器、人工呼吸器等 | 可 |
| 放射線科 | 336.73㎡ | CT、MRI、リニアック、血管連続撮影装置等 | 可 |
| 検査科 | 236.70㎡ | 生化学分析装置等 | 可 |
| | ㎡ | (主な設備) | |
| | ㎡ | (主な設備) | |

4 備考

| |
|--------------------------------|
| 救急告示病院、第二種感染症指定医療機関、地域救命救急センター |
|--------------------------------|

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

| | |
|---------------------------|---------------------|
| 救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数 | 3,133人 (2,060人) |
| 上記以外の救急患者の数 | 7,636人 (2,283人) |
| 合計 | 10,769人 (4,343人) |

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

| | |
|---------------|----|
| 救急用又は患者輸送用自動車 | 1台 |
|---------------|----|

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数 (A) : 2, 0 8 6
 上記の内、開設者と直接関係のない医療機関の延べ数 (B) : 2, 0 8 6
 共同利用率 (B/A×100) : 100%
 (端数切捨て、小数点第1位まで記入)

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

建物：建物の全部
 設備：CT装置、MRI装置、RI装置、マンモグラフィー装置、超音波診断装置、内視鏡装置、消化管透視装置 他
 器械又は器具：上記に不随する機会及び器具一式（パソコン、電話、FAX 他）

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有 ・ 無
- イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名：古川 健太
 職 種：専門職

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

| 医療機関名 | 開設者名 | 住 所 | 主たる診療科名 | 地域医療支援病院開設者との経営上の関係 |
|--------|------|-----|---------|---------------------|
| 別紙のとおり | | | | |

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

| | |
|--------------|----|
| 常時共同利用可能な病床数 | 5床 |
|--------------|----|

1 研修の内容

【医学医療に関する講習会】

- ・ 感染管理について新型コロナウイルスの現状 52名
実施期間 2022年5月19日
- ・ MRI吸着事故撲滅 39名
実施期間：令和4年7月13日
- ・ 第3回感染対策セミナー
ICTセミナー：教訓を糧に～COVID-19で私たちは何を学んだのか～ 646名
実施期間：令和5年2月22日～令和5年3月15日
- ・ NST研修 NST介入患者の症例報告 ～リハビリの視点から～ 27名
実施期間：令和4年11月2日
- ・ 第2回感染対策セミナー チグハグ ～その感染対策の目的は？～ 727名
実施期間：令和4年11月2日～令和4年11月23日
- ・ 緩和ケア委員会事例検討会 51名
実施期間：令和4年10月13日
- ・ 第1回医療安全推進セミナー 616名
実施期間：令和4年7月22日
- ・ 医療安全セミナー RRSについて 658名
実施期間：令和4年6月27日

【地域の医師等を集めた症例検討会】

- ・ 第10回クリニカルセミナー 腹部臓器の出血の画像診断40名
実施期間：令和5年2月8日
- ・ 第9回クリニカルセミナー 外用療法について 19名
実施期間：令和4年12月14日
- ・ 第8回クリニカルセミナー 脳神経疾患に対する再生医療 23名
実施期間：令和4年11月30日
- ・ 第7回クリニカルセミナー 性感染症について 23名
実施期間：令和4年10月26日
- ・ 第6回クリニカルセミナー
～外来におけるがん治療期患者の多職種連携を考える～ 65名
実施期間：令和4年9月28日
- ・ 第5回クリニカルセミナー
うちの子小さい？ 大きい？ ～小児の低身長と肥満のおはなし～32名
実施期間：令和4年9月14日
- ・ 第4回クリニカルセミナー不明熱について 19名
実施期間：令和4年7月27日
- ・ 第3回クリニカルセミナー 知って得する糖尿病治療薬の選び方 39名
実施期間 令和4年6月22日
- ・ 第2回クリニカルセミナー RDIを用いた内視鏡治療について 39名
実施期間：令和4年6月8日
- ・ 第1回クリニカルセミナー ペースメーカーについて 42名
実施期間：令和4年5月25日

2 研修の実績

| | |
|--------------------|--------|
| (1) 地域の医療従事者への実施回数 | 18回 |
| (2) (1) の合計研修者数 | 3,157人 |

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 有・無

イ 研修委員会設置の有無 有・無

ウ 研修指導者

| 研修指導者氏名 | 職 種 | 診療科 | 役 職 等 | 臨床経験数 | 特 記 事 項 |
|---------|-----|-------|--------|-------|---------|
| 内藤 慎二 | 医師 | 病理診断科 | 教育研修部長 | 35年 | 研修責任者 |
| | | | | 年 | |
| | | | | 年 | |
| | | | | 年 | |
| | | | | 年 | |
| | | | | 年 | |
| | | | | 年 | |

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

| 施 設 名 | 床 面 積 | 設 備 概 要 |
|------------------------------------|---------|--|
| 講堂（会議室（1）および（2）の間仕切りを収納して1つの部屋とする。 | 226.73㎡ | 336名収容 AV設備、パソコン、放送設備、衛生回線による遠隔会議研修 |
| 研修・会議室（3） | 39.69㎡ | 40名程度収容 |
| 研修・会議室（4） | 41.58㎡ | 40名程度収容 |
| | ㎡ | （主な設備） |
| | ㎡ | （主な設備） |

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

| | |
|---------|-----------|
| 管理責任者氏名 | 院長 力武 一久 |
| 管理担当者氏名 | 専門職 古川 健太 |

| | | 保管場所 | 分類方法 |
|---|---|---------------------------------|---|
| 診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約 | | 診療録管理室 | 過去の分については患者ID別 2010年6月以降分については電子媒体にて保存 |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 共同利用の実績 | 地域医療連携室 放射線 検査科 診療録管理室 | |
| | 救急医療の提供の実績 | 企画課（医事） 診療録管理室 | |
| | 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績 | 教育研修部 管理課 地域医療連携室 | |
| | 閲覧実績 | 企画課（医事） 診療録管理室 | |
| | 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿 | 地域医療連携室 企画課（医事） | |

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

| | |
|---|---------------|
| 閲覧責任者氏名 | 院長 力武 一久 |
| 閲覧担当者氏名 | 企画課 専門職 古川 健太 |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 企画課 医事 |
| 閲覧の手続の概要 ・ 診療録開示の希望者に対しては、企画課専門職にお問い合わせいただく ・ 診療録開示を申請出来る方 ・ 原則として患者の皆様、ご本人 ・ 患者の皆様、ご本人に法定代理人がいる場合には法定代理人 ・ 診療契約に関する代理権が付与されている任意後見人 ・ 患者の皆様、ご本人から代理人を与えられたご親族及びこれに準ずる方 ・ 患者の皆様、ご本人が成人ではあるが、判断能力に疑義がある場合は現実に患者の皆様、ご本人の世話をしている親族及びこれに準ずる方 | |

| | | |
|-----------|--------|-----|
| 前年度の総閲覧件数 | | 51件 |
| 閲覧者別 | 医師 | 0件 |
| | 歯科医師 | 0件 |
| | 地方公共団体 | 0件 |
| | その他 | 51件 |

(様式例第18) 委員会の開催の実績

| | | |
|--|----|--|
| 委員会の開催回数 | 0回 | |
| 委員会における議論の概要 | | |
| 独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター 地域医療支援病院運営委員会 ※新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮して中止。 | | |

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

| | |
|--------------------------|---|
| 患者相談を行う場所 | 相談窓口・相談室・その他 () |
| 主として患者相談を行った者 (複数回答可) | 看護師 小浜 由紀子、水町 裕子、佐藤 智美 社会福祉士 糸山 尚美、廣田 由紀、藤井 恭介、川口 彩子 |
| 患者相談件数 | 1, 443件 |
| 患者相談の概要 | |
| 医療費・経済的問題 | 83件 |
| 介護保険 | 134件 |
| 苦情 | 3件 |
| 就労関係 | 32件 |
| 受診・転院 | 537件 |
| 書類等 | 79件 |
| 診察関係 | 9件 |
| 障害者関係 | 22件 |
| 療養先関係 | 13件 |
| 療養生活 | 232件 |
| その他 | 299件 |

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式例第19-2) 地域における医療の確保を図るために特に必要であるものとして都道府県知事が定めた事項

| 都道府県知事が定めた内容 |
|--------------|
| 特になし |
| 実施状況 |
| |

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

| | |
|------------------------|---|
| ① 病院の機能に関する第三者による評価の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 |
| ・評価を行った機関名、評価を受けた時期 | |
| ・機関名 | 公益財団法人日本医療機能評価機構 |
| ・認定時期 | 2021年10月1日 |
| ・認定有効期限 | 2026年1月22日 |

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

| | |
|-------------------------------|---|
| ① 果たしている役割に関する情報発信の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 |
| ・情報発信の方法、内容等の概要 | |
| ・地域連携システムによる医療連携 | |
| ・肺炎・糖尿病・がん地域連携パスコーディネーターによる支援 | |
| ・地域連携診療計画（地域連携パス）の推進 | |
| ・地域医療連携セミナーの開催 | |

3 退院調整部門

| | |
|---------------------------------------|---|
| ① 退院調整部門の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 |
| ・退院調整部門の概要 | |
| ・退院調整専従看護師を1フロア（2病棟）毎に配置 | |
| ・ソーシャルワーカーを4名配置 | |
| ・各診療科担当医とともに地域の医療機関を訪問し、円滑な退院調整を行っている | |

4 地域連携を促進するための取組み

| | |
|-------------------------------|---|
| ① 地域連携クリティカルパスの策定 | <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 |
| ・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 | |
| ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み | |
| ・大腿骨頸部骨折地域連携クリティカルパスの活用（ 件使用） | |